

(別添4)

【鶴ヶ島市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

ICT環境によって、多様な児童・生徒一人一人が、興味や関心、実態に応じて、自ら試行錯誤を繰り返したり、問題発見・問題解決を繰り返したりして、生涯にわたって学び続ける姿を目指します。

また、児童・生徒一人一人が自分のペースを大事にしながら共同で作成・編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ合意形成を図ることができる学びの姿を目指します。

2. GIGA第1期の総括

鶴ヶ島市では、鶴ヶ島市GIGAスクール推進委員会を立ち上げ、「一斉学習」「個別学習」「学び合い学習」の3つの学習場面の特性に応じたステップ目標を設定し、ICT利活用を推進してきました。

また、各学校へICT支援員を巡回配置し、授業支援、校務支援、環境整備、校内研修の充実を図りました。その結果、県平均と比較すると、平時の持ち帰りや授業において、ICT活用が進んでいることが分かりました。一方、授業における場面ごとに見ると、更なる活用促進が必要であることが分かりました。

今後は、鶴ヶ島市GIGAスクール推進委員会において、市で導入しているAIドリルの活用や各学習場面の学習用端末の効果的な活用事例を情報共有することで、課題解決を図ります。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第2期に向けて、平時の授業における学習用端末の活用については、以下の5つの活用場面と目標を設定し、さらなる推進を図っていきます。

【具体的な5つの活用場面と活用目標】

- (1) 調べる場面(100%)
- (2) 発表・表現する場面(80%)
- (3) 教職員とやりとりする場面(80%)
- (4) 児童生徒同士でやりとりする場面(80%)
- (5) 理解度等に合わせて課題に取り組む場面(80%)

また、市内全小・中学校の小学校3年生以上において、学習用端末の持ち帰り学習を実施することを目指します。